

♪ 2021年度 **poco a poco** ♪

Nr. 19

2021年12月10日(金)

文責:プファイル・辰巳

2年ぶりのミニコンサート

12月8日(水)と9日(木)の放課後は2年ぶりのミニコンサート開催となりました。とはいえコロナ禍中の開催とあって、様々な制約がありました。出演を予定していたのに見送った子どもたち、鑑賞を希望されていたのに叶わなかった保護者のみなさまなど、様々な面でご不自由をおかけしたことと思います。また、普段のミニコンサートと違い、学年ごとの入れ替えがあり、お迎えや待機に関連して、混乱する場面もあったかと思えます。どうぞご容赦ください。

それでもピアノだけではなく、ヴァイオリンやチェロ、フルートなどいろいろな楽器演奏があり、クラスで取り組んできたヴァラエティに富んだ合唱・合奏があり、楽しいひと時を分け合うことができました。

3学期はドイツのコロナ感染状況が好転し、安心してコンサートが開催できることを今から祈っています。今後とも温かい目で、子どもたちの音楽活動を見守っていただけると幸いです。また子どもたちには、音楽する喜び・聴く楽しみを体感する機会がさらに増えるようにと願っています。授業や習い事など日々の音楽活動に前向きに取り組んでいって欲しいものです。

音楽こぼれ話 < 追悼 スティーブン・ゾントハイム >

～ ウェストサイド物語 ～ バーンスタイン ～ ゾントハイム ～

ミュージカル「ウェストサイド物語」は大変有名ですね。シェイクスピアの「ロミオとジュリエット」の物語が基調となっており、時代と場所が1950年代のニューヨークに置き換えられて、ストーリーが展開します。マンハッタンで張り合う2つのギャング集団

(アメリカ系のジェットとプエルトリコ系のシャーク)の抗争の中で、トニーとマリアというカップルが犠牲になってしまうお話です。

「マリア」「トゥナイト」「アメリカ」「サムフェア」などおなじみの曲がたくさん登場しますが、これらの歌詞を書いたのがゾントハイムです。作曲は有名なレオナルド・バーンスタインです。1985年にバーンスタイン自らが指揮し、クラシック音楽界のソプラノ歌手キリ・テ・カナワがマリア、テノールのホセ・カレーラスがトニーという配役で録音された素晴らしいドキュメンタリーフィルムが残っています。そして今年、ディズニーからスピルバーグ監督の新しい映画「ウェストサイド物語」も出来上がったそうです。

ゾントハイムは1930年にニューヨークで生まれました。作詞だけではなく、自らも数々のミュージカルや映画の挿入歌などの作曲も手掛けた音楽家で、アカデミー賞、トニー賞、グラミー賞、ピューリッツァー賞など数多くの賞を何回も受賞しています。20世紀アメリカのミュージカル界を代表する作曲家で、「ブロードウェイの聖人」と呼ばれていました。

このゾントハイムが先月、11月26日にコネチカット州ロックスバリーで亡くなったというニュースがドイツでも報道されました。91歳でした。



ちょっとだけ 演奏会情報

コンサート入場は「2G+」のところがほとんどです。時間に余裕を見て、また必要な書類をしっかりとそろえてお出かけされることをお勧めします。また急に変更になることも多々ありますので、事前の確認をしてお出かけください。

フランクフルト カイザー ドーム

12月15日と16日 20時から「クリスマスコンサート」

フランクフルト カタリーネン教会 (ハウプトヴァッヘ)

12月26日(日) 18時から

「フルート・ハープ・パイプオルガンコンサート」

12月31日(金) 20時30分から と 22時30分から

「ヨハン・セバスチャン・バッハの音楽」